

盛岡地域福祉センター 地域密着型通所介護 運営推進会議報告書

令和6年3月14日(木)

施設名 : 盛岡地域福祉センター

事業名 : 地域密着型通所介護

会議開催日時 : 令和6年3月7日(木) 13時30分～14時15分

紹介依頼者 : 6名

(利用者1名 利用者家族1名 地域住民の代表2名 知見を有する者1名
盛岡市職員1名)

センター職員 : 所長 生活相談員 主任生活支援員

【利用者実績報告】

別紙のとおりとなっており、利用者の加齢、病状悪化もあり微減となっている。

【活動内容報告】

前期に続き、移動販売の回数を増やす事によって買い物を楽しみにされている利用者様には好評である。特に独り暮らしやなかなか買い物に行くことが難しい方には待ち遠しい様子も見られている。また、特定の地域住民の方にも好評である。

【事故対応及びひやりはっと報告】

報告書にまとめ再発を予防するため、定期的な見直しや振り返りを行い、同じような事例を繰り返すことのないように努めていきたい。

【質疑及び意見報告】

町内会長 H様より

「移動販売は月に何回程度実施されているか？」の質問がある。また、「購入対象は高齢者のみなのか？」との問いもあり、地域での活用を考えられている様子がうかがえる。

センターより

販売は月2回実施していて、ヤクルト、団子屋、となんカナン、大善ストア、ローソン等でローテーションを組み来所して頂いている。秋には太田の産直あいさい館にも来所して頂き利用者に喜ばれている旨の返答をしている。また、生活介護利用者の購入もあるので購

入対象者については「全年齢です」と答える。手代森地域の子供たちも場合によっては来るかもしれないと会長より話しがある。センターの地域住民への周知や開放に役立つ要因となることからセンターとしても望ましいと考えている。

保健福祉部介護保健課 T様より

「地域の方にも移動販売の実施はお声掛けしているか？」の質問がなされた。

I 民生委員様より

「現在は地域住民のうち近隣地域の一人暮らしの方にお声掛けをしている」と回答。実際に来られるメンバーは固定化していることが多いが、楽しまれている様子がうかがえている。

センターより

「町内会長を通して町内会や子供会など近隣の方へ更にお声掛けいただければ購入機会が増えるとともにセンターへの敷居も下がり入りやすくなるのではないか」と考えている。

民生委員 I 様より

ひやりはっと報告について、事故報告を確認して引き続きの課題検討、職員間の情報共有のお願いがありました。

Y 事業所 K 様より

同様に迅速適切な対応をするようお願いがありました。

センターより

これらの意見に対してひやりはっとの定期的な確認と職場内での確実な情報共有により再発を未然に防止していくよう努めていきたいと回答をする。

【その他】

民生委員 I 様より(書面で提出された意見)

「町内に福祉事業所があり、サークル活動等の拠点があることは大きな安心感であり、地域の誇りです。微力ですが、地域の方々とセンターとのつなぎ役・福祉・防災の担い手として少しでもお手伝いできればと思っております。今後災害時の役割について町内と一緒に検討する機会を設けていただくことを要望します。」

町内会長 H 様より

上記について私も同感である。中でも、センターが災害時の避難所になるにあたり、そのことを踏まえた災害時の防災訓練を企画・検討していきたいと考えており、その際には場所の借用や人員の供出等相談に乗っていただきたい旨の相談

が成された。

センターより

センターの避難所としての活用については災害対応マニュアルの作成時に毎年確認しているつもりではあったが、市職員を交えた動きについては未確認の為、今後の課題として地域の拠点としてのセンターの活用を含めて職員間で話し合っていきたい。

【まとめ】

センターより

ご意見ありがとうございました。今後も感染予防の徹底を行い、利用者様へ安心、安全なサービスを提供して参ります。また、利用者さまの立場に立って楽しい余暇活動も継続して実施して参ります。今後とも宜しくお願い致します。

以上

【次回開催予定】

令和6年9月頃を予定しております。